

日本社会保障法学会会報 第33号

発行日：2012.9.1 発行人：石橋敏郎 編集人：加藤智章 発行：日本社会保障法学会
本部事務局住所：〒060-0809 北海道札幌市北区北9条西7丁目
北海道大学大学院法学研究科 加藤智章研究室 気付
Tel：011-706-3949 Fax：011-706-4948 E-mail：sslaw@juris.hokudai.ac.jp
URL：http://www.jassl.jp/ 会員数：577名（2012年9月1日現在）

第62回秋季大会開催案内 事務局長 加藤智章（北海道大学）

日本社会保障法学会第62回秋季大会が下記の通り開催されます。皆様お誘い合わせの上ご参加いただけますようお願い申し上げます。

- ・ 日 時：2012年10月13日（土） 9：00～17：00
- ・ 会 場：上智大学 四谷キャンパス（〒102-8554 千代田区紀尾井町7-1）
大学までの交通、大学内の案内につきましては本会報末尾の地図をご参照ください。
総会・シンポジウム会場：3号館 1階 123号室
- ・ お問い合わせ先 Tel：03-3238-3111（代表）
- ・ 大会次第（詳細につきましてはレジュメ集をご覧ください。）

受付開始……………9:00
開会……………9:30

個別報告

●第一会場（3号館 124号室）

○川崎航史郎（龍谷大学・院）……………9:30～10:30
「被用者保険における受給権保障と事業主および保険者の責任」
司会：脇田 滋（龍谷大学）

●第二会場（3号館 171号室）

○常森裕介（関東学院大学）……………9:30～10:30
「社会保障法における児童の自立 ―アメリカ貧困児童法制の総合的考察―」
司会：菊池馨実（早稲田大学）

共通テーマ・シンポジウム

「震災と社会保障」

司会：木下秀雄（大阪市立大学）、山田 晋（広島修道大学）

○井上英夫（金沢大学）……………10:40～11:10
「震災と社会保障 ―大震災と住み続ける権利・社会保障―」

- 丹波史紀（福島大学）…………… 11:10～11:40
「被災者の生活問題とコミュニティ」
- 鈴木 浩（明治大学）…………… 11:40～12:10
「復興計画と居住保障」

総会・開催校あいさつ …………… 12:10～12:40

休憩（昼食） …………… 12:40～13:40

共通テーマ・シンポジウム（続き）

- 今野順夫（福島大学）…………… 13:40～14:10
「復旧・復興に向けた雇用問題の現状と課題」
- 吉永 純（花園大学）…………… 14:10～14:40
「災害と社会保障 ～生活保護について」
- 青木佳史（大阪弁護士会）…………… 14:40～15:10
「広域避難者支援の法的課題」

休憩 …………… 15:10～15:25

- シンポジウム…………… 15:25～17:00

大会終了 …………… 17:00（予定）

※同封の大会出欠確認はがきに必要事項を記載の上、**2012年10月3日（水）**までにご返送いただきますようお願いいたします。

※昼食を希望される方は、大会出欠確認はがきの「昼食」の「要」に○をつけてください。

昼食を希望された方は、大会当日、受付にて昼食券を購入してください。代金は1,200円です。なお、昼食券を申し込みされた方は必ずご購入ください。

※懇親会の参加を希望される方は、大会出欠確認はがきの「3. 懇親会」の「出席」に○をつけてください。

懇親会の参加を希望された方は、大会当日、受付にて懇親会券を購入してください。代金は6,000円です。懇親会の会場は、ホテルニューオータニ（ガーデンコート4階）ガンシップです。

企画委員会からのお知らせ 企画委員長 山田 晋（広島修道大学）

第62回秋季大会は、2012年10月13日（土）、上智大学四谷キャンパスにて開催予定です。「震災と社会保障」をテーマにシンポジウムが開催されます（担当理事 井上英夫理事・木下秀雄理事）。また、個別報告として、川崎航史郎会員（龍谷大学・院）の「被用者保険における受給権保障と事業主および保険者の責任」、常森裕介会員（関東学院大学）の「社会保障法における児童の自立 ―アメリカ貧困児童法制の総合的考察―」が予定されています。

第63回春季大会は鹿児島大学において、2013年5月18日（土）に開催されます。「社会保障法とジェンダー」をテーマにシンポジウムを開催する予定で、準備が進められています（担当理事 神尾真知子理事・古橋エツ子理事）。

学会で取り上げるべきテーマなどにつき会員の方からのご意見をお待ちいたしております。
また個別報告につきましては随時受け付けています。(syamada@shudo-u.ac.jp)

(若手会員の文献リスト作成に関して)

企画委員会では、今後の企画立案に役立てるとともに、若手会員（40歳未満もしくは大学院入学後10年未満の会員）の業績を広く紹介するため、文献リストを作成し、学会のホームページに掲載します（当学会誌掲載のものは除く）。つきましては、企画委員会の情報収集能力に限界があるため、上記要件に該当する論文・著書の現物またはコピーを下記にお送り頂ければ幸いです。なお、お送り頂いた論文・著書等は返却いたしませんのでご了承下さい。

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1丁目1番1号
広島修道大学 法学部 山田晋研究室

学会誌投稿論文の募集について 企画委員長 山田 晋（広島修道大学）

学会誌投稿論文を募集しています。ふるってご応募下さい。募集要領は下記の通りです。

記

- 1 学会誌に発表する論文は未発表のものに限ります。
- 2 投稿者は本学会会員に限ります。
- 3 投稿された原稿は、論文審査委員会が内容を考慮して選定した論文審査委員に、氏名を伏して審査を委嘱します。その結果に基づき、論文審査委員会が採否を決定します。採用された原稿の掲載方法等については、学会誌編集委員会で決定します。
- 4 採用にあたっては、より一層内容の充実を図るために、補筆や修正等をお願いすることがあります。
- 5 原稿の分量は、原則として、14,000字（200字詰め原稿用紙70枚）以内とします。
- 6 執筆要領は、別にお渡しします。応募ご希望の方は、学会事務局まで請求してください。なお、公正な審査を行うため、執筆者を特定・推定させるような表現はお避けください。たとえば、注の中で投稿者自身の執筆論文・著書を引用する場合には、「拙稿」といった表現は用いずに、他の執筆者の論文等の引用と同じスタイルで引用してください。
- 7 英文タイトルおよび英文要約（200語以内）を必ずつけてください。
- 8 投稿論文は、コピーを含め3部提出して下さい。提出された原稿は、採否にかかわらず返却いたしません。
- 9 締め切りは、2012年9月30日（必着）とします。
- 10 投稿原稿は、学会事務局気付「論文審査委員会」宛に、簡易書留にてご送付下さい。

〒060-0809 北海道札幌市北区北9条西7丁目
北海道大学大学院法学研究科 加藤智章研究室気付
日本社会保障法学会事務局「論文審査委員会」宛

学会誌編集委員会からのお知らせ 編集委員長 新田秀樹 (大正大学)

- ・ 学会誌 28 号の原稿締切りは例年どおり 12 月 20 日ですので、関係する会員の方におかれては締切りの厳守をお願いいたします。また、61 回春季大会報告者の方並びに 62 回秋季大会報告予定者の方には、秋季大会終了後を目途に執筆要領をお送りいたしますので、文献の引用形式等につき要領を遵守されるようよろしくお願い申し上げます。
- ・ 学会誌 28 号には、学会員が執筆した書籍（2012 年 1 月から 12 月までに出版されたものに限る）の出版案内を掲載する予定です。該当書籍についての情報がありましたら、編集委員長の新田までメールにて御連絡下さい。
- ・ 62 回秋季大会では、学会当日の昼食休憩時に編集委員会の開催を予定しております。詳細については追ってメールにてお知らせしますので、編集委員の方は御承知おき下さい。

新講座編集委員会からの報告 総括編集委員 木下 秀雄 (大阪市立大学)

新・講座社会保障法がこの 7 月に刊行されました。5 月の春季学会時までの刊行という当初の予定より少し遅れ、会員各位にご心配をおかけしましたが、3 巻そろっての刊行を果たしました。執筆いただいた会員をはじめ、ご協力いただいた社会保障法学会の会員の皆様、また、出版をお引き受けいただき何かとお世話になった法律文化社の皆様に心からお礼を申し上げる次第です。

2001 年に講座社会保障法 6 巻を刊行してから 10 年たち、2009 年 5 月に、良永彌太郎理事を準備委員会の委員長として、新・講座社会保障法の刊行の準備が始まりました。それ以後、講座全体の構成やボリュームなどをめぐる議論を経て、今回は、前講座とは異なり、取り上げる論点の網羅性に重点を置くのではなく、変動激しい時期にふさわしく焦点を絞った講座とすることとしました。巻数も、第 1 巻「これからの医療と年金」、第 2 巻「地域生活を支える社会福祉」、第 3 巻「ナショナルミニマムの再構築」の 3 巻構成としました。各巻の編集委員を中心に論点を設定し執筆を依頼しましたが、執筆期間中に法改正が行われたり、訴訟が進行して判決が出されるなど執筆を担当された皆さんはご苦労が多かったことと思われまます。また、ご承知のようにこの期間には、2011 年 3 月 11 日の東日本大震災と福島第一原発事故という未曾有の大災害がありました。そればかりではなく、2008 年末のリーマンショックと年越し派遣村、あるいは政権交代という大きな社会的変動も生じています。今回、そうした変動激しい時期にあえて学会として講座を刊行することは、学会として社会的責任を果たすゆえんである、という意味もありました。

新・講座の収載された論文は皆それぞれそのテーマにふさわしい力作であり、現在の社会に問題提起を行っているものばかりです。社会保障法学会会員各位には、ぜひ、この新・講座をご購入いただくとともに、会員各位の関係されている図書館や資料室での購入をお働きかけいただくなど、普及についてもお力添えをお願いしたいと思います。

新・講座刊行以後も社会保障制度をめぐる動きは急です。今回講座刊行がそうした社会の動きの中で、「国民の健康にして文化的な生活の確保」に資することを心から願っています。

日本社会保障法学会理事会議事録要旨 日本社会保障法学会事務局

○2012 年度 5 月定例理事会

- ・ 日時：2012 年 5 月 18 日（金）16:00～18:00
- ・ 場所：大阪市立大学 杉本キャンパス 学術情報センター1 階文化交流室
- ・ 議事内容

- ①第 61 回春季大会の運営について（略）
- ②第 62 回秋季大会の運営について（略）
- ③第 63 回春季大会以降の運営について（略）
- ④学会誌投稿論文・奨励賞について（略）
- ⑤学会誌編集委員会より（略）
- ⑥2011（平成 23）年度決算・2012（平成 24）年度予算について
加藤事務局長より 2011 年度会計決算について報告。石田監事の監査報告を受けて承認。
加藤事務局長より 2012 年度予算（案）について報告。理事会において承認。
- ⑦国際交流委員会より（略）
- ⑧日本学術会議について（略）
- ⑨学会新講座編集委員会より（略）
- ⑩入会者承認、退会者報告（略：下記の「入退会のお知らせ」をご覧ください）
- ⑪その他（略）

○2012 年度 7 月定例理事会

- ・日時：2012 年 7 月 14 日（土）16:00～17:00
- ・場所：駒澤大学 会館 246 7 階会議室
- ・議事内容
 - ①第 62 回秋季大会の運営について（略）
 - ②第 63 回春季大会の運営について（略）
 - ③第 64 回秋季大会以降の運営について（略）
 - ④学会誌投稿論文・奨励賞について
奨励賞は本年度応募なし。
 - ⑤学会誌編集委員会より（略）
 - ⑥国際交流委員会より（略）
 - ⑦日本学術会議について（略）
 - ⑧学会新講座編集委員会より
木下総括編集委員より、新講座が発刊されるとの報告。
 - ⑨入会者承認、退会者報告（略：下記の「入退会のお知らせ」をご覧ください）
 - ⑩その他（略）

入退会のお知らせ 日本社会保障法学会事務局

- ・2012 年 5 月 18 日（金）、7 月 14 日（土）の定例理事会で、次の方々の入会が承認されました。
河村俊之（筑波大学・院）、岩野正史（国立国際医療研究センター）、岩渕 豊（国立社会保障・人口問題研究所）、内山博之（日本社会事業大学）、地神亮祐（大阪大学・院）、金雪梅（大阪大学・院）、金澤由佳（早稲田大学・院）、山本克司（聖カタリナ大学）、民谷 渉（弁護士）、太田浩之（国立障害者リハビリテーションセンター）、今任啓治（社会福祉法人 至誠会福祉会）、東根ちよ（同志社大学・院）（順不同、敬称略）
- ・2012 年 5 月 18 日（金）、7 月 14 日（土）の定例理事会で、次の方々の退会が報告されました。
佐藤隆三、小室豊允、中村年春、堺鉦二郎、池永満、香川珠実、上村俊一、江口公典、渡辺裕幸、片岡昇、寺脇隆夫、西村隆治、平田秀光、松前眞介、渡部記安、吉永圭一、斎藤尚子、寺田博（順不同、敬称略）

事務局からのお知らせ 日本社会保障法学会事務局

○第 63 回春季大会の日程について

会報第 32 号(企画委員会からのお知らせ)において、第 63 回春季大会の日程を 2013 年 5 月 11 日(土)と誤ってお伝えしてしまいました。正しくは、**2013 年 5 月 18 日(土)**となります。申し訳ありませんでした。会員の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

○学会誌バックナンバーについて

学会誌につき、引き続き、皆様所属の図書館やご近所の図書館等で購入希望を出していただければ幸いです。ご注文につきましては、1 号から 12 号までは委託事務局に、13 号以降は法律文化社営業部(Tel: 075-702-5830)にお問い合わせください。バックナンバー1 号から 12 号までの在庫数は、学会ホームページにてご確認ください。

○英文パンフレットについて

英文パンフレットの残部が事務局に若干数ありますので、ご入り用の方は事務局までメールでご連絡ください。

○次回以降の学会大会について

第 63 回春季大会は、2013 年 5 月 18 日(土)、鹿児島大学にて開催される予定です。

■上智大学(四谷キャンパス)アクセス

